



明柔

2007



MEIJI UNV. JUDO CLUB
PERIODICALS

明治大学柔道部明柔会会報

世界柔道選手権大会 100k 超級

棟田最高！

全試合一本完全優勝



棟田康幸

決勝－横四方固－リュバック（ロシア）

CK第一企業中央 株式会社

系列会社
第一企業管財株式会社
箱崎興産株式会社

代表取締役 細川隆夫
(S38年度卒)

ビル総合管理
清掃、警備、電気、機械
その他ビル管理一式

〒105-0012 東京都港区大門2丁目12番7号
第2パークビル7F

TEL. 03-3434-1111(代)
FAX. 03-3578-8775

明治 2 階級を制す！

全日本学生体重別選手権大会

明柔（明治大学柔道部明柔会会報）目次

巻頭言	1
会長挨拶	2
明柔会、新体制発足一年が経つて	3
支部活性化への取り組み	4
御協力に感謝して	5
事務局から	6
監督交代	7
一年を振り返つて	8
来年度主将に	9
マネージャー便り	10
平成20年度スポーツ推薦入学 柔道部合格者	11
同期会	12
杉原 構	21
花本 隆司 (81kg)	19
西岡 和志 (73kg)	18
立ってよし寝てよし西岡	16
秀島 大介・藤原 敬生	13
事務局長 山内 鉄生	10
藤原 敬生	11
事務局長 山内 鉄生	10
秀島 大介・藤原 敬生	13
監督交代	7
一年を振り返つて	8
来年度主将に	9
マネージャー便り	10
平成20年度スポーツ推薦入学 柔道部合格者	11
同期会	12
杉原 構	21



花本得意の背負が決まる

立ってよし寝てよし西岡

写真 明大スポーツ提供

特別寄稿

神永昭夫さんを偲んで	明治大学商学部教授 寺島善一	22
柔道選手のトレーニング・栄養の考え方	政治経済学部教授・医学博士 春日井淳夫	23
慶祝		30
明柔コラム 道場往来		32
「JUDO」に追い込まれた二〇〇七年	竹園隆浩	33
追悼文		32
故・畠田道夫君を偲ぶ	松本順吉	36
追悼 宮下光男先輩	落合俊保	38
訃報	押切義春	40
文集 武士道精神に学ぶ	39	
編集後記	45	

巻頭言

現代学生気質について

柔道部長 飯田和人

明治大学に奉職して今年で三十年になる。その間、同じ時代を二十歳前後の若者たちと共に過ごしてきたわけだが、ある頃から学生気質が大きく変わった。まじめで素直で聞き分けのいい学生が増えてきている。その傾向は一九九〇年代前半あたりからで、いわゆる「団塊ジュニア世代」以降である。

最近の学生に尊敬する人物を聞くと、その八割近くが両親と答える。団塊の親たちがそれほど立派でないのは我が身を顧みれば分かることで、そういう親でも尊敬してくれるジュニアの方が偉く思えてくる。ただ、叱られ慣れていないのがこの世代の共通項である。叱られると、どういう態度をとつてよいのか分からぬ。ただオロオロし何とも名状しがたい顔つきをするかと思うと、急に逆ギレするのもいる。要するに、大事にされ、可愛がられすぎて育ってきたということなのである。

また、最近の学生の就職活動の様子を見ていると、いくつか内定先をもらひながら、いつまでも就職活動をやめない傾向がある。その仕事が自分にあっていないかも知れぬという思いが強いのである。その延長線上に例の「自分探し」がある。そうしたものは、人生の中で一所懸命に働く中で見つけ出されていくもので、その入り口あたりで分かるはずもないことである。これで将来は本当に大丈夫かという気にもなるが、じつは良い面もたくさん持っている。たとえば、今の若者はわれわれ団塊世代よりもずっと世界に対する知識は豊富である。情報の量が違うし、子供の時から親と一緒に海外を旅して広い世界を見聞している。何よりも頼もしいのは、我々の世代は付和雷同型が大勢いて、前後左右を顧みずに猪突猛進する傾向があつたが、今の若者は結構、冷静でしっかりと自分を保っている人たちが多い。

これから難しい時代を託するに足る若者が多いとも言える。団塊世代にもう一度やらせるよりはすつとうまくいくはずである。わが柔道部員も、現代の若者に共通の長所と短所を持つている。そのことを心にして、長所は伸ばし、短所は自ら気が付かせるよう指導していくなければならない、と思うこの師走である。



会長挨拶

明柔会会長 関 勝治



明柔会会員各位におかれましては、日頃から、明柔会、明大柔道部に多大なご支援を頂き、心から感謝申上げます。

さて、平成十八年四月に明柔会会長を拝命して以来、会長として明柔会の発展と柔道部の支援に微力を尽くして参りましたが、全面的に改正した明柔会会則により設置した常任幹事会や各委員会においては、各委員長を中心諸課題解決に向けて精力的に取り組んで頂いているところです。

また、明大柔道部では、藤原監督、園田・猿渡助監督、中濱コーチをはじめとする指導陣が一丸となつて、学生の教育と強化に取り組んでおり、全日本学生優勝大会及び団体体重別大会では第3位、個人戦では花本主将が81kg級、二年生の西岡君が73kg級で優勝するなどの成績を収めていますが、近年、団体戦では國士館大学の強さが際立つ状況にあります。

同校は中学・高校・大学の一貫教育のなかで選手強化を行つております、一方のライバルである東海大学においても豊富な付属校からの継続した選手獲得が大きな武器となつております。

こうしたライバル校に対抗して、明大柔道部が伝統を堅持しながら優勝旗を奪回するには、明柔固有の財産であるOBと学生が一体となつた強化活動と、OB全員の結束による柔道部への支援が欠かせないことは言うまでもありません。本年度（平成十九年四月）の総会において既に提案したところであります、明柔会組織の強化のためには各地方組織の活性化が不可欠であり、親睦を中心としたこれまでの活動内容に止まらず、有望選手のスカウト活動に関する情報収集や支援について、支部組織が機能することが重要であると考えております。

現在、支部組織の活性化に係る素案を常任幹事会において検討しているところですが、歴史を有するこれまでの支部活動を基盤として、より活動的な支部組織を構築することを目指しております、平成二十年度の総会では草案を提示して、翌年度までには具体化したいと考えております。

会員各位におかれましては、明柔会会員である棟田君がブラジルの世界選手権において、日本柔道の真髄を見せて金メダルを獲得した記憶が新しいことと思いますが、明柔会の結束によって明大柔道部を強化し、優秀な選手を排出することが日本柔道の発展に繋がり、結果として日本柔道の眞の精神が世界に広がるものであることをご理解頂ければ幸いです。

支部活動の活性化や財政基盤の強化など、明柔会の課題は

山積しておりますが、引き続きご支援ご協力を賜りたく、お

願い申し上げ、挨拶とさせて頂きます。

明柔会、新体制発足一年が経つて

常任監事 村井正芳

1 激変する社会情勢

一九八〇年代末（ベルリンの壁崩壊）以降、世界が一つになろうとするグローバル化は、日本の政治はじめ経済、教育などあらゆる分野に様々な影響を及ぼしている。

特にIT（情報化）社会の到来は、産業構造の転換および市場開放を招き、社会システムや生活スタイル、国民の価値観などを大きく変えた。さらに日本国内では、少子高齢化が、財政、雇用、医療、福祉などに深刻な問題を引き起こしている。

これらの影響が教育界にも波及、学校経営の淘汰を迫られた各大学は存続を賭け「学科の新設・統廃合」「教育レベルの向上」等、新たな挑戦に取り組み始めた。

明治大学は、近代的な校舎「リバティタワー」を都心に持つ利点を活かし、その魅力に憧れる優秀な学生の取り込みに

成功、同時に「教育レベル（偏差値）の向上」が実現されました。

このことは、柔道部員から見ると入学、進級、卒業のハードルが高まった訳で、より一層、勉学に対する努力が期待されることがあります。

一方、産業界では、重厚長大から軽薄短小、さらにソフトウェアに産業構造の転換が行われ、これらの変化に的確に対応できた企業が発展してきた。

この過程において市場では、厳しい経営環境に晒された企業が熾烈な競争を展開、各企業は社内のリストラおよび合理化を推進、経営基盤の強化を図ってきた。

この中で長年にわたり日本スポーツ界の発展に貢献してきた企業が、全日本クラスの運動部を廃止する動きが顕著になつた。このことは、柔道部員（卒業生）の就職に大きな影響が及ぶことになる。

明大柔道部と明柔会は、このような背景を的確に認識し「厳しい現実」に対して「果敢に挑戦」していく姿勢が求められている。

2 新明柔会の組成

体育会柔道部は、優秀な成績（団体、個人）を収め明治大学の発展に寄与、加えて社会人として自立・活躍できる人材育成を目標に活動している。明柔会は、この柔道部の活動を物心両面で支援してきた。

先に述べた激変する社会情勢に対応するためには、特に、明治大学、柔道部、明柔会、この三者が相互の理解と連携を深めながら課題を解決していくことが肝要である。

そのため明柔会が、問題点の核心を捕らえた解決策を企画・立案する能力、加えてその方策の実現に向けた折衝・交渉する能力を備えることは極めて重要である。

これらを踏まえた新たな明柔会の構築は、直面している難局を打破できるような、組織（統廃合・新設）体制、その組織を活性化できる役員の選任などに留意しながら実施した。

具体的には、会長（関勝治会長）を補佐する副会長ポストを新設（細川隆夫、坏昭二、湯浅政一、姿信夫、上村春樹各副会長）、奨学金・広報委員会に加え涉外・指導・特別委員会を新設した。これらの委員会（人的資源が大幅に増加）が山積する課題を検討、解決する方式に改善した。

なお、新明柔会の組成に伴い「明柔会会則（付則）」はじめ「役員選任規定」を改訂、「支部規定」については、本部と支部が意見交換しながら継続的に協議していくこととした。

3 具体的な成果

総会（臨時総会）はじめ常任幹事会、幹事会などが定期的（あるいは随時）に開催され、役員の出席率が向上、活発に意見が交わされ会議の活性化が実現した。

この会議に、柔道部監督を参画させて明柔会の実情を理解させると同時に監督から柔道部の活動（大会成績、スカウト、

さらなる発展を期待したい。

おわりに、新明柔会の組成にあたり新体制準備委員会（福田二朗委員長）に明柔会員の皆様から寄せられたご支援ご協力に対し、改めて感謝申しあげたい。

昭和三九年度卒業

支部活性化への取り組み

常任監事 重松 裕之



五八・二歳。これはある日の常任幹事会出席者の平均年齢だ。出席者の大半が六十歳代の先輩方で占められており、出席者の最少年齢は四六歳。こうした傾向は近年引き続いているが、明柔会出席者は確実に高年齢化している。

「高年齢とはなんだ！ 失礼な！」という大先輩方から叱責の声が飛んで来そうだが、筆者が助監督であった平成のはじめ頃の明柔会は四十・五十歳代を中心として三十歳代前半の先輩方も数多く出席されていた。つまり、当時の主だった出席者がほぼそのままスライドしているだけなのだ。ここ十数

年来、若い血が導入されていない。大変由々しき事態である。

未だに最若手の位置にある筆者は監督経験者として大変肩身が狭い。（態度は大きいらしいが。反省しています）

当然、明柔会長以下では「若手の参加促進が急務」との問題認識で一致しているが、若手OB参加促進とは、会議への出席などに止まらず、年会費納入率の向上も指す。

二十九三十歳代のOBの皆さん！ 会費納入していかか？ 納入していない場合には今後、結婚披露宴の席でその事実を暴露しますよ。既婚者であっても明柔OBの結婚披露宴で定番となっている校歌齊唱に参加させない措置を講じさせてもらうよ。ううん、それよりも引き出物に口座引落し書類を一式入れておくか。と、まあ、冗談はさて置き、経済的な特別の事情がない限り、社会人として一本立ちしているならば、年会費だけは後輩達のために恩返しとして納めようではないか。ここ二十年來、明大柔道部は一学年十名にも満たない年次が多く、少数精銳のチームとして戦ってきたが、同期の数が少ないだけに結束は強いはず。

さて、支部活性化である。全国各地で、社会人としてそれぞれ多忙な日々を送っている若手OBの参加を促す環境を整えるためには、支部活動を通じてOB間の親睦をさらに深めて情報交換を活発化させる必要がある。また、明大柔道部指導陣と支部との連携を密にして、柔道部強化への支援体制を整備させなければならない。東京での常任幹事会だけが明柔の活動ではなく、全国の支部が活性化してこそ、明柔会は磐

入試など）について報告を受けることとした。これで柔道部と明柔会のコミュニケーションが格段に深まり透明性が著しく向上した。

具体的な成果は以下のとおりである。

(一) 奨学金委員会（細川隆夫委員長）と涉外委員会（坏昭二委員長）が、大学当局に陳情していた「明治大学

体育会柔道部一〇〇周年記念体育振興基金規定の制定」が実現（二〇〇六年十一月）した。

現在、明柔会の財源は、OB会費と奨学金制度による

篤志会員の寄付が大きな柱である。

この篤志会員の寄付金を税控除できるような仕組みを創ることが、長年の懸案事項であつたので画期的な成果である。

(二) 指導委員会（重松裕之委員長）では、秀島大介監督の後任が決まらず難渋していたが、「藤原敬生監督の就任」が決定した。さらに合宿所給食問題では、「食堂運営体制の改善」を実施、そして学生の規律問題は、「寮長に猿渡琢海コーチが就任」、指導体制が整備された。

広報委員会（小林敏邦委員長）では、「ホームページを開設」、逐次充実を図り柔道部の活動をタイムリーに伝達する体制を整備した。

(四) 特別委員会（姿信夫委員長）では、「OB会費の納入率を向上させる対策」に取組んでいる。

以上のとおり新明柔会は、着実な成果をあげており、今後以上は

石となり、柔道部への支援・賛助も充実する。

そこで、関明柔会長の指揮により、「支部活性化への取り組み方針（案）」を作成することとなつた。一昨年に明柔会会則を全面改正した折に宿題となつていて支部細則の制定の基礎となるものであるが、あくまで素案の段階であることをご理解頂きたい。明柔の伝統は、長幼の序や礼節をわきまえながらも、先輩後輩の別なく自由に意見交換できることにある。全国のOB諸氏からご意見を頂戴したい。

【支部活性化に係る素案（要旨）】

1、目的

明柔会活動目的である「会員相互の親睦」の促進、並びに「明治大学体育会柔道部への賛助」を充実することを目的に、支部活動について活性化を図る。

2、方向性

- ① 支部活動の目的及び本部組織との関係性を明確化する。
- ② 支部組織の構成を効率的、実効的なものとする。
- ③ 支部組織幹部の選出方法のあり方について統一明確化する。
- ④ 支部活動経費のあり方を明確化し、透明性を確保する。

3、具体的措置

○組織的位置付けを、次のとおり見直す。

・定められた地域内における会員の親睦を深めるため、支部会議の開催等を行う。

・明大柔道部への賛助を行うため、同部の依頼にも基づき、地域内柔道界等の情報収集や必要な活動（スカウト情報の収集、合宿等への賛助）を行う。

・支部は明柔会本部の附属機関とし、その活動は本部（常任幹事会）の承認により行うものとする。

○支部組織の構成及び幹部選出を、次のとおり見直す。

- ・全国ブロック毎に支部を置き、東海・大阪（近畿）・九州等を重点ブロックとする。
- ・支部会長は、支部地域に在住するOBの〇〇名以上の推薦人によりその候補を選出する。
- ・〇〇名以上が出席した支部会の開催による了承を経て、会長に推薦する。（又は支部会で支部会長を選出して会長に報告）
- ・会長は候補者を支部会長に指名するときは、常任幹事会に諮問することとする。
- ・会長を補佐するため、複数名の支部副会長を置くこととし、支部会長は支部構成員の過半数の賛同を得て、副会長を指名する。
- ・会長を補佐し、支部活動の実務執行の責任者として、

柔道部今年は5位

駿河台体育会OB、Golf-Compe 11月6日

Player

細川隆夫、岩戸正美、菅谷邦正、坪 昭二、
田村興靖、関 勝治、千葉宏之、岩崎慶治



- 文部活動経費のあり方を、次のとおり見直す。
- ・明柔会本部への会員会費納入に関しては、会員が直接本部会計に納入することとする。
- ・支部における支部会費及び賛助金等については、会長の責任において集金することとする。
- ・ただし、支部会費の額、賛助金の使用目的等に関しては、支部会員過半数の賛同を得ることを条件とするなど、支部規定に明文化して透明性を確保することとする。
- ・なお、支部会費の額については、明柔会常任幹事会で定めた額の範囲内とすることを申し合わせ事項として確認する。

御努力こ感射して

獎學金委員會 委員長 細川隆夫



A black and white portrait of a middle-aged man with glasses, wearing a dark suit jacket over a striped shirt. He is smiling slightly and looking directly at the camera.

せん。

さて、去る十一月、基金開設以来御協力をいただいて来た

宮下光男先輩が御逝去されましたが、このたび御家族より故

先輩の御意志とのことで一〇〇万円が基金に振り込まれてま

いりました。——亡き先輩の熱い志にいまに感動している

ところです。

年の瀬も迫つてまいりました。皆様に於かれても具々も御

自愛の上良い新年をお迎え下さい。

以上年末の挨拶にかえて——。

事務局から

事務局長 山内鉄生



明柔会の皆様に於かれましては、益々ご繁栄のこととお慶び申し上げます。

日頃より明柔会並びに柔道部活動に対しましてご理解、ご協力を賜りまして深く感謝申し上げます。

ました。長期に渡り部を支えてくれた秀島大介（H四）前監督には深く感謝致して居ります「大変ご苦労様でした」。

新監督には藤原敬生（S五五）氏が就任され、新たな気持ちと新体制で頑張って頂きたいと願つて居ります。

合宿所には猿渡琢海（H十）氏が入寮してくれましたので「ピリッ!!」とした雰囲気も生まれたようです。

また貽いの藤原精一氏はOBに勝るとも劣らない熱意で学生の栄養調理にあたつてくれて居りますし、食材を超破格値で提供してくれて居るのが千葉宏之（S五八）氏であります。明柔会に直接ご協力頂ける方、陰ながら支えて下さる方、事務局を仰せ付かると皆様の情熱や思いが強く感じられる今日この頃です。今後とも柔道部発展の為にご尽力下さいます。ようお願い申し上げます。

月 日	事 業 名	備 考
4月28日	平成19年度 明柔会総会 (明大道場) 委任状含む出席358名	出席56名
6月19日	(第1回) 定例常任幹事会 (大学会館) 1. 奨学金中間報告 2. 東京優勝大会報告	出席23名
6月25日	(第1回) 事務局会議 (明大道場) 1. 支部活性化について	出席 6 名
7月24日	(第2回) 定例常任幹事会 (大学会館) 1. 奨学金中間報告 2. 全日本優勝大会報告 3. 支部活性化について	出席19名
9月3日	(第3回) 定例常任幹事会 (目黒合宿所) 1. 奨学金中間報告 2. 東京体重別大会報告 3. 支部活性化について 4. 幹事・部員懇親会	出席45名 学生含む
9月28日	(第1回) 事務局会議 (明大道場) 1. 支部活性化について	出席 6 名
10月1日	(第1回) 幹事会 (紫紺館会議室) 1. 奨学金中間報告 2. 支部活性化について	出席24名
11月7日	(第4回) 定例常任幹事会 (大学会館) 1. 奨学金中間報告 2. 全日本体重別団体優勝大会報告 3. 支部活性化について 4. 棟田世界選手権祝賀会について	出席17名
11月29日	棟田康幸 世界選手権優勝祝賀会 (紫紺館)	出席124名



監督交代

新監督に藤原敬生氏

明柔会本部は、監督 秀島大介氏の職場転勤にともない後任の選出を急いでいたが、秀島監督が推薦する藤原敬生氏（S五年度、新日本製鉄勤務）の承諾が得られ四月の総会で承認された。五年の長期に亘って部を統括してきた秀島氏の尽力に敬意を表すると共に、久々のベテラン監督である藤原氏の手腕に期待したい。

助監督を務め、学生指導に携わること約十年が経過しておりました。学生と共に過ごした日々は、苦しいものもあり、また楽しさ、喜びを与えてもらった生涯忘れるこの出来ない貴重な思い出となりました。改めてお礼を申し上げます。

今後は、藤原監督にバトンタッチをしますが、私の監督時代に成すことが出来なかつた全日本学生大会優勝を目指して、チーム一丸となつて精進されることを心から祈っております。微力ではございますが、今後ますますの明柔会の発展繁栄に少しでも貢献できるよう尽力してまいりたいと思います。引き続き、ご指導ご鞭撻を賜りますよう宜しくお願ひいたします。

平成四年卒 JRA日本中央競馬界

退任にあたつて

秀島大介

明治大学柔道部監督就任にあたり

藤原敬生

平成十四年五月に監督に就任して以来、約五年間現場の指揮官を務めてまいりました。この間、良き先輩・同僚・後輩に恵まれ、温かいご指導ご支援ご厚情を賜りましたことを深く感謝申し上げます。

振り返つてみると、平成九年から



先日（1/24）、明治大学柔道部OB会明柔会より監督の指名を頂きました、S五年度卒の藤原（新日鉄勤務）です。

明治大学柔道部の監督の就任にあたり一言挨拶を述べさせて頂き

たいと存じます。

現在の心境は、前監督の秀島氏の後を引き継ぐに際し改めて身の引き締まる思いです。

監督の重責を全うすべく、強い責任感と名門校の指導者としての誇りを持ち、日々の指導にあたりたいと考えています。百年以上で培われた技、技術の伝承による競技力の向上、また、心、精神力の修練、この二つを軸に団体日本一、王座奪回を目指し強化に努めたいと思います。

道場での厳しい稽古だけでは限界があります。合宿所生活を含めた日常生活（大学生としての学園生活等）における意識も高めることによりしっかりと物の考え方の出きる学生を育成しなければならないと考えています。既にプランから実行に移した事項もあります。人生の初歩ですが、日常の挨拶、返事、先輩後輩のけじめ、物事の区別をつける力を下級生時に身につけ、上級生は社会に出ていく準備としての学習も忘れてはならないと考えています。

当たり前のことが、当たり前に出来なければ柔道がいくら優秀でも社会では通用しません。（ただ強さを求める目的だけでは柔道の本質とは異なります）先人達を敬い尊ぶ心、感謝の気持ちを常に持ち続けられるようにならなければ真の強い人間になることは無理でしょう。

厳しさの中から多くのことを学び取り、自身のステージを高めていくことに大きな価値があると思います。

今回監督就任にあたりコーチングスタッフの見直しも慎重存じます。

また多くの明治大学柔道部の支援者、関係者の方々にこの場をお借りして心より御礼申し上げたいと存じます。

また、今後とも変わらずご指導ご支援いただければ幸いと存じます。

私自身、指導者として行き届かぬ点もあるうかと存じますが、忌憚のないご意見を頂ければこの上ない喜びでござります。よろしくお願い申し上げます。

昭和五五年度卒（新日本製鉄）

〈コーチングスタッフ〉

監 督 藤原敬生（新日鉄）

助監督 園田隆二（警視庁）、猿渡琢海（JRA）

コーチ 井上智和（警視庁）、中濱真吾（京葉ガス）

棟田康幸（警視庁）、矢寄雄大（了徳寺学園）

泉 浩（旭化成）

総 务 小林敏邦

講 習 会

十月 和泉校舎

「栄養の知識とトレーニング」

政経学部教授 春日井 淳夫氏

拓殖大学講師 佐藤 伸一郎氏

十一月 道 場

「柔道選手の筋力トレーニング」

政経学部教授 春日井 淳夫氏

合同練習（明大道場）

4月	山梨学院大学、延岡学園高校
4月	青森中央学院大学、大成高校
6月	千葉県警
6月	兵庫県警
7月	京葉ガス、明大中野高校
7月	フランス、サンテチエンチーム
10月	新日鉄、修徳高校
10月	国士館大学
10月	東洋大学
11月	慶應大学
11月	ロシアJチーム
9月	夏期合宿、新日鉄広畑道場 (新日鉄、兵庫県警、甲南大学)

に、しっかりと指導できる能力の高いOBにお願いをいたしました。

助監督には引き続き園田氏（警視庁所属）、新たに猿渡氏（中央競馬会所属）の両氏。さらに五名のコーチ（井上、中濱、棟田、矢寄、泉）と二人の特別コーチ（佐藤、石田）に依頼し引き受けて頂いております。

昨年の四月に閑会長の下、新体制になつた明柔会の組織に学び、私達指導陣も一心同体となつてスクラムを組み学生の指導にあたりたいと思います。

この新しい駿河台の道場から小川町の道場（旧道場）に匹敵する選手を輩出すべく、計画性を持ち、しっかりとメニューを練り、選手個々の個性に合ったレベルの高い内容の稽古ができるようにしていきたいと考えています。また、我々指導者も過去の栄光に慢心すること無く、新たな気持ちで道場に立ちたいと思います。

情報の収集（勧誘、戦力分析等）にも努め、少数精銳と言われている現状にあまること無く、強豪校復活を目指したいと決意を新たにしております。

学生諸君は、柔道部の仲間だけにとらわれず、学生生活を幅広く有意義に送るためにも、クラスメートや、他部の学生と交遊を持ち、様々なジャンルの友人を持つことを柔道の稽古と併せて積極的に実践して下さい。

君達の大きな財産になることは間違いないでしょう。

最後に日頃よりご指導ご支援頂いている明柔会会員各位、

一年を振り返つて

監督 藤原敬生

る事は順次、実行してきた。

さらに時間の使い方など、学生自身が今後工夫を重ねなければならない事もある。

六月の優勝大会、十一月の体重別団体大会ともに準決勝で涙をのんだ。

特に十一月の体重別団体戦の準決勝戦（対東海大）は1—3という結果であったが、内容はスコア一程、差があるとは感じなかつた。

個人戦では花本、西岡がそれぞれ81kg、73kgで学生王者についた。

この二人は、この結果はある意味、スタート地点である事を忘れてはならない。

他の学生も同じ環境で稽古を重ねている仲間が学生の頂点についた事を考えれば、全員にそのチャンスはあるという事も強く認識をしてもらいたい。

団体戦の敗因はいくつかあるが、その中でも早急に講じなければならぬポイントをあげたい。

現状の戦力は主軸が重量級以外であり、強豪他校に比較をしても小型でパワー不足である。早い時期に、重量級の強化（在学生、来春入学予定者含む）、チーム全体の底上げを図りたい。（夏以降、柔道の稽古以外にも、ウエイトトレーニング（柔道に則した）、基礎栄養学など勝つために、良いと言われてい

稽古ではなく、やる稽古が一人でも多く、一日でも早く実践できればチーム力は付いてくる」と。

心の強化、精神力の充実を掲げてきたが、根気強く継続して指導していく所存である。



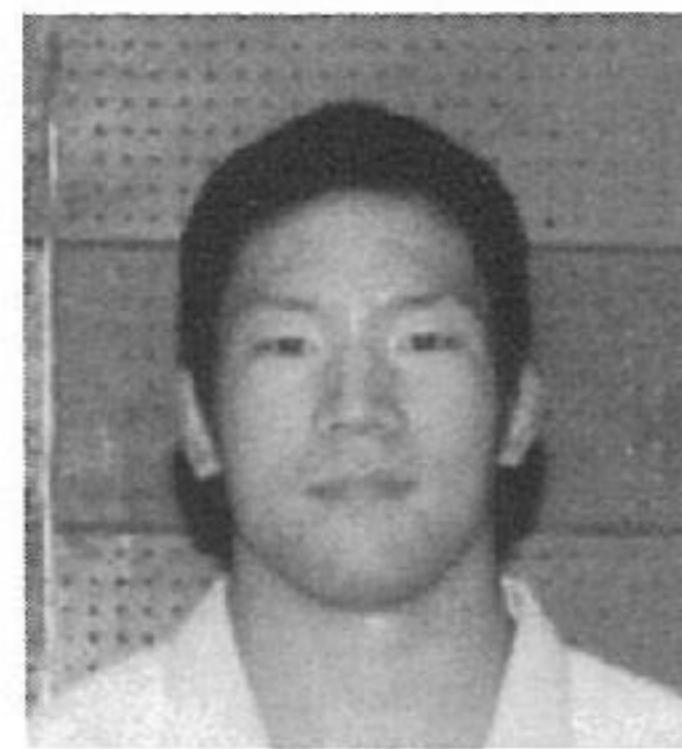
2007年度 明治大学試合結果（個人・団体） 3位に終わる 優勝大会 体重別団体

日付	大会名	階級	名前	学年	成績
6月23日	全日本学生柔道優勝大会 日本武道館				団体 ベスト4
					明治大学—国士館大学（0—4）
7月7日	東京都ジュニア柔道選手権大会 東京武道館	81kg級	武田茂之	1年生	優勝
					○武田茂之一長島啓太（指導）
		100kg級	清水龍太	2年生	優勝
					○清水龍太—寺島克興（すくい投げ 技あり）
9月2日	東京学生柔道体重別選手権大会 日本武道館	60kg級	鈴木雅典	3年生	優勝
					○鈴木雅典—柴田道秀（袈裟固め）
		90kg級	田中貴大	3年生	優勝
					○田中貴大—萩本貴章（優勢勝ち）
		81kg級	武田茂之	1年生	3位
9月9日	全日本ジュニア柔道体重別選手権大会 埼玉県立武道館	81kg級	武田茂之	1年生	2位
					武田茂之一長島啓太（大内狩り 一本）○
		100kg級	清水龍太	2年生	3位
10月13日・ 14日	全日本学生柔道体重別選手権大会 日本武道館	73kg級	西岡和志	2年生	優勝
					○西岡和志—真野洋光（GS 小内狩り）
		81kg級	花木隆司	4年生	優勝
					○花木隆司—加藤博剛（優勢勝ち）
		100kg級	山本宜秀	3年生	3位
11月3日・ 4日	全日本学生柔道体重別団体優勝大会 尼崎市記念公園総合体育館				団体 ベスト4
					明治大学—東海大学（1—3）
11月18日	講道館杯 千葉ポートアリーナ	73kg級	西岡和志	2年生	5位
					西岡和志—中矢力（優勢）○
11月24日・ 25日	中国国際柔道大会 中国	73kg級	西岡和志	2年生	3位
		81kg級	花木隆司	4年生	3位

来年度主将に

田 中 貴 大

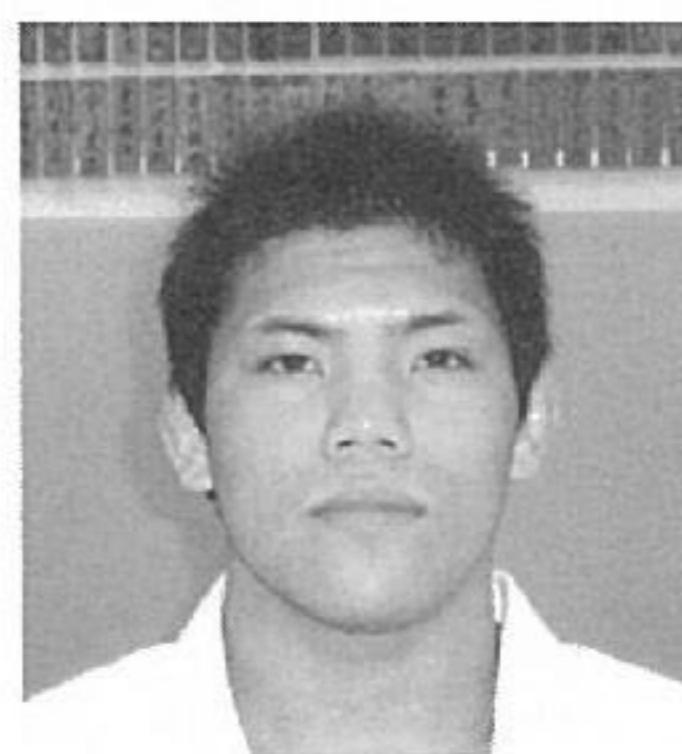
平成二十年度の主将、主務他学生幹部の紹介が十二月納会の場で行われ、新主将に田中貴大（政経）が就いた。



主将 田中貴大（政経）
鳥栖高校出 佐賀県出身



副主将 影野裕和（政経）
世田ヶ谷学園高校出 愛媛県出身



主務 松岡赳志（政経）
埼玉栄高校出 兵庫県出身



副主将 鈴木雅典（商）
旭川竜谷高校出 北海道出身

マネージャー便り

主務 赤木一隆

先ず先輩方の変わらぬ御支援に対し部員を代表して心から御礼を申し上げます。

平成十九年



かららず変わりました。主な理由はJR Aに勤務されている猿渡助監督が五月から寮監として入寮された事です。その指導によってマンネリに甘えていた寮生たちの自覚が高まり生活態度にも目に見え変化が出てきています。

これまで我々上級生も努力してきたつもりでしたが、その力不足を改めて反省しています。もう一つは、助監督と同じく四月から寮に住み込み食事の世話にあたっている藤原精一さんの存在です。藤原さんは少ない予算で栄養面を考えた食事作りに努力されています。

いつまでも彼らに勝たせる訳にはいきません。少数精鋭集団が大世帯を倒す日は遠くありません、変わらぬ応援をよろしく。

さて、春から合宿所の雰囲気が少な

があつてはならない、油断してはならないと状況が良くなりつつあります。自分と後輩にいいきかせております。

さて、現在部員二六名、来年の卒業生が三名で、新入生は今のところ十名前後ときいています。来年は合宿所もだいぶ賑やかになりそうですが先生、先輩方の御指導を得て生活の環境をより一層整えて新一年生を迎えるたいと思っています。私も四年間の経験を生かして卒業の日まで頑張ります。

良い年をお迎え下さい。

政経四年

就職先（株）東洋水産

ブラジル・サンパウロTV
道場取材撮影12月

風邪で稽古を休む者が近ごろめつき

り少なくなったのは食事改善のためかとも思っています。我々のため合宿所物心の環境整備に努力されている助監督をはじめ先輩方のご指導に背くこと

同期会

杉原 構

三月二八日、三七年に卒業した十名の仲間たちが山口友孝先輩（三五年卒）の経営する伊豆土肥町のペンション「ラ・ボサーダ」に集まって一泊二日の同期会をやりました。

このチームは、学生時代からキャプテンの朝田君を中心にはまとまっており、全日本学生大会などで優勝しています

卒業してからすでに三五年も経過しているのでアタマは薄くハラが出ていますが、みんなすこぶる元気でした。

これからも学生諸君を出来る限り支援しながら、おたがいの健康管理をシッカリやって、またの来年五月に「集まる」ことを約束しました。

三七年卒



世界一大きい花時計をバックに

平成20年度スポーツ推薦入学 柔道部合格者

氏名	出身高校	体重(級)
吉井 健	大成高校	-81kg
下山 徳大	大成高校	-66kg
海老沼 匡	世田ヶ谷学園高校	-73kg
原田 龍	明桜高校	+100kg
上川 大樹	崇徳高校	+100kg
岩上 慶信	国学院栃木高校	-90kg
西川 智	埼玉栄高校	-73kg
加藤 貴也	安房高校	+100kg
木村 一心	青森山田高校	+100kg
岩城 貴士	崇徳高校	-73kg
三枝 智哉	足立学園高校	-60kg

特別寄稿

神永昭夫さんを偲んで

明治大学商学部教授 寺島善一



商学部のOBと懇談する寺島教授（右端）

先般大学は明柔会監事、小林敏邦氏に

総合講座授業「日本近代史と明治大学」

の講師を依託した。

授業のテーマは「神

永昭夫と東京オリンピック」だった。

神永さんといえば私にとっても忘れ得ぬ人である。以下神永さんを偲びながら彼との関わりの一端を述べて見たい。

英国には“Good loser”と言う概念が在り、姑息な勝者より、正々堂々と戦つて敗れた「敗者」を讃えるのです。神永さんは、正にこの“Good loser”だと言うのである。

神永さんにはかかる日本メディア等からの重圧については、Donの親友であった英國柔道連盟の、C. S. Palmerさんから聞かされていたと言う。そうした状況の中で、神永さんの取った行動に、Donは、驚嘆したと言うのである。

その後、ロンドン大学客員教授であった、Donを、明治大学の客員教授として、招聘し、小川町校舎の柔道場を見せたり、神永さんが、学生時代、社会福祉施設で働きながら、「学問」に「柔道」に励まれた事などを、お話しした。

Donの神永さんへの畏敬の念はますます深まつたことは言うまでもない。

そして、彼が主催する、英國オリンピックアカデミーにおいて、Donの口から、神永さんの事が、「かくも素晴らしい『オリンピアン』として、英國のスポーツ関係者に語り継がれている。

英國には「スポーツ場面での『行為』は、その人の『人格』を反映する。」と言う言葉がある。

その時、英國パレーボール協会会長で、英國オリンピック協会常任理事であった、Dr. Donald W. J. Anthonyさん（以下Donと略す）が、私のほうに近づいてきて、「君は日本人か？」私は一瞬耳を疑つた。オリンピックで金メダルを逃した、神永さんを、尊敬していると言うのである。

その人の名前は「神永昭夫」なんだ！」と言つた。

私は一瞬耳を疑つた。オリンピックで金メダルを逃した、神永さんを、尊敬していると言うのである。

彼は、英國オリンピック協会（B. O. A.）の、オリンピックアカデミーの会長をしていて、「オリンピックの理念」（Olympism）を、英国内に知らしめ仕事をしていた。

Donは、オリンピック種目になつたばかりの「柔道」の、テレビ放映を見ていたのである。

決勝に挑む、その立ち姿の美しさと、敗戦後の、ヘーシングに対するハグ等の清々しい態度を見て、感動をしたと言うのである。正に、本当のスポーツマンの姿をここに見たと言ふのである。

オリンピックの歴史の中で、語り継がれるゴーランドメダリストは数多くいるが、その舞台での「行為」によって、その人間性を評価されたスポーツマンは珍しい。

明治大学柔道部がこのようなスポーツマンを育んでくださつた、「歴史」と「伝統」に、明治大学のスポーツ関係者として、感謝を申し上げたい。

この事は、授業の中でも、誇りをもつて語り継ぎたい。（現在、「近代日本と明治大学」と言う総合講座で、明柔会の皆様の協力で実施中）

柔道選手のトレーニング・栄養の考え方

政治経済学部教授・医学博士 春日井淳夫



1. はじめに

柔道のトップアスリートたちは、柔道の練習に励むことは勿論のこと、練習だけでは足りない部分をトレーニングして補い、その一方で十分な栄養（食事）と適切な休養をとることによって厳しい稽古・トレーニン

グに耐えられる身体づくりや傷ついた身体の修復作業を確實に行っている。つまり柔道選手としてトップを目指すためには、練習は言うに及ばず、体力面を補うトレーニング、身体づくりのための栄養、休養のどれが欠けても不十分であり、トータルで実施していかなければならない。言い換えれば、「練習」「体力トレーニング」「十分な栄養」「適切な休養」の4項目は強くなるための必要条件であるといえる。では、この必要条件である4項目はどういうに実施されればいいのだろうか？本稿では特に、柔道の競技力向上に関連した「トレーニング」、「栄養摂取のあり方」について述べたいと思う。

2、トレーニングについて

①パワーの重要性

「柔道の競技力にパワーは必要か？」という問い合わせに対しても、ほとんどの者が「必要である」と回答するほど、パワーの重要性は認識されている。しかし「パワーとは何か？」という問い合わせに対して明快に答えられる者はあまりいない。つまりパワーの本質が理解されないまま、ただ漠然と「パワーが必要である」と認識されているにすぎないのである。

パワーは力（筋力）とスピード（速度）の積（「パワー＝筋力×スピード」）であると言われている。スピードとは、距離を時間で除したもの（距離÷時間）であるから、「パワー＝筋力×距離÷時間」と書き換えられる。ここで「筋力×距離」とは「仕事量」のことだから、更に「パワー＝仕事量÷時間」

とも書き換えることができる。つまり、「パワーとは何か？」の答えは、「単位時間内に行える仕事量」ということになる。これを理解しやすくするために次の問題を解いてみよう。

問題：「100 kgの岩を5 m動かす」という仕事を、100 kgの岩を動かすことができるA、Bの二人が行ったとき、Aはその仕事を10秒、Bは20秒でやり終えた。このとき、パワーがあるのはAとBどちらか？

解答：A

理由：単位時間内に行う仕事量を計算すると、

$$A : 100 \text{ kg} \times 5 \text{ m} \div 10 \text{ 秒} = 50 (\text{kg} \cdot \text{m} / \text{sec})$$

B : $100 \text{ kg} \times 5 \text{ m} \div 20 \text{ 秒} = 25 (\text{kg} \cdot \text{m} / \text{sec})$

となり、A > Bで、AがBよりもパワーがある。

解答が示している通り、「パワーがある」ということは、「単位時間内に行う仕事量が大きい」ことを意味している。単位時間内に行う仕事量の大小は、パワーが筋力とスピード速度のかけ算ということから、筋力およびスピードの両者が関わることになる。つまりパワーを増すためには、筋力およびスピードをアップさせればいいことになる。

「100 kgの岩を5 m動かす仕事を行う」ことを例にとると、当然絶対的な筋力の大きい方が単位時間内に行える仕事量は大きくなる。つまり絶対的な筋力が150 kgと200 kgの人

「力」すなわち「筋力」を高める方法としては、ウエイトトレーニングが最も効果的な方法であることは明確である。また、「スピード」を高める方法としては、同様にスピードトレーニングが最も効果的な方法であるといえる。しかし、重い負荷を課した状態では高いスピードを発揮することはできないし、逆に、高いスピードを発揮するためには、重い負荷を課すことはできない。従って、ウエイトトレーニングでは、パワーを高めるために必要とされる十分なスピードを確保することはできず、パワーを高めることができない可能性がある。また、スピードトレーニングでは、パワーを高めるためには必要とされる十分な負荷が確保することができず、パワーを高めることができない可能性がある。これが従来からのウエイトトレーニングを柔道そのものに活かすこととの限界点ではないだろうか。つまり、パワートレーニングを行う上で、あまり重い負荷を用いてトレーニングしてしまうと、「筋力を高める」ための特異的なトレーニングになってしまふ可能性があるし、軽すぎる負荷では、「スピードを高める」ための特異的なトレーニングになってしまふ可能性がある。従って、パワートレーニングを考える上では、「過負荷の原則」をどう考慮するかということが重要な要素になることが考えられる。

ではパワーがあるのは後者であり、このことからウエイトトレーニングによつて筋力を強化し、最大筋力を増すことはパワーの増大にとつて必要な条件になつてくる。

スピードを高めることについては、まず「パワーに関するスピードとは何か」について明確にする必要がある。スピード（速度）は、時速〇 km（〇 km/h）という表現からも判るように、時間あたりどれだけの距離を進むかで決まる。同じ時間あたりで進む距離が大きいほどスピードがあり、それを決定づけるのは、車であればエンジン、ヒトであれば筋肉の性能である。ここでいう性能の善し悪しは、脳からの指令がスムーズに伝達され必要に応じた出力が素速くなれるかどうか（筋肉の収縮スピード）で決まる。脳からの指令をスムーズに伝達させるためには、その回路を常に活性化させておく（トレーニングしておく）必要がある。

パワーを増大させるためには、ウエイトトレーニングによつて筋力を高める一方で、その筋力を土台にしたスピードの強化を図ることが重要となる。いかに最大筋力が大きくても、最大筋力に到達するまでの時間（スピード）が遅ければせつかくの筋力も無駄になつてしまふことを十分認識しなければならない。

②パワートレーニングについて

パワーとは前述の通り「力×速度」で表される。筋肉のレベルで考えると、筋パワーとは「筋が発揮した力」と「筋の

具体的にイメージするため「垂直跳」を例にとり説明したい。「垂直跳」は全身を使つた瞬発的な運動であり、パワーを評価するためのテストとして用いられている。「垂直跳」の跳躍高を高める、すなわちパワーを高めるためにはどうしたら良いだろうか？これまでの多くの先行研究では、「垂直跳」を連続して何回か行う方法、ウエイト等を担いで（持つて、身に付けて）「垂直跳」を行う方法であることが報告されている。

では、「垂直跳」を連続して何回か行う方法と、ウエイト等を担いで「垂直跳」を行う方法では、どちらの方法がより良いのだろうか？「垂直跳」を連続して何回か行う方法は、「垂直跳」そのものが過負荷になつているのであれば、効果があるといえる。つまり、バレーボール選手は、普段から頻繁にジャンプ動作を行つてゐるため、「垂直跳」そのものが過負荷にならぬ、効果が上がらないと考えられる。一方、ウエイト等を担いで「垂直跳」を行う方法では、そのウエイトが重過ぎた場合は、効果があがらないことが先行研究などで報告されている。これらのことから、パワートレーニングを行う上で、「過負荷の原則」がいかに重要であるかということが理解できるだろう。

では、パワートレーニングを行う上で用いる負荷はどの程度が適切なのだろうか？これまでの先行研究から、最大パワーが出る時の「力」は最大筋力の $1/3 \sim 1/2$ に相当することが報告されている。また最大パワーが発揮できる持続時間は約10秒程度であるといわれている。従つて最大筋力の1

/3程度の負荷を用いて、約10秒程度の運動を全力で行うのが最も効果的な方法であると考えられる。

このように、「パワートレーニング」は実施するのが難しいトレーニングの一つであるといえる。従つて、「パワートレーニング」そのものに加えて、パワーを構成する要素である「力」を向上させるための「筋力トレーニング」、「速度」を高めるための「スピードトレーニング」を合わせて実施する、複合的なトレーニングも効果的であると考えられる。

③ ウエイトトレーニングとパワートレーニング

柔道選手のウエイトトレーニングは、「身体づくり、土台づくり」という基本的なことが行われるべき」と考える。競技力を伸ばしていくためには技術が必要で、より高い技術を獲得するためにはそのハーダルを越えられるだけの身体（土台）が重要である。小さい土台しかないので無理矢理高いハーダルを跳ぼうとすれば、歪みが生じて怪我に繋がる。だからウエイトトレーニングによつて筋力をつけ、身体を作つていくことは柔道選手にとって不可欠なことである。

従来から行われているウエイトトレーニングは、最大筋力の向上を主たる目的としているため、その実施方法は筋肉により大きなダメージが加わるよう、「ゆっくり下ろし、ゆっくり挙上する」ように指導されている。しかし、パワーに目を向けたとき、この実施方法では筋力をアップできても、スピードのアップは到底期待できない。当然、パワーは筋力と

やトレーニングだけでは不十分である。柔道は非常に大きなエネルギーを消耗するスポーツであり、十分かつ偏りのない栄養素の補給が常に求められる。どのような栄養素が身体の発達や諸機能を高めるために有用であるかを正しく理解することは、一流を目指すスポーツ選手にとって必要な条件である。

柔道選手にとつて「食べる」ということは、練習やトレーニングを行うことと同等であり、「食べられない」ということは「強くなれない」とことと等しい。

① 必要な栄養素

ヒトにとって必要な栄養素とは、三大栄養素といわれるタンパク質、炭水化物、脂肪とビタミン類やミネラル類であり、これは柔道選手にとつても変わるものではない。炭水化物（ご飯、パン、パスタ、うどん、そば等）や脂肪（バター、オイル、肉の脂身等）は主としてエネルギーの原材料となり、タンパク質（肉、魚、豆製品（豆腐、納豆）、乳製品）は身体機能的に活用できるようビタミン類やミネラル類が過不足なく必要となる。

3、栄養の摂り方について

柔道の競技力を効果的に向上させるためには、日々の練習

合などは、不足している栄養素が何で、それを補うにはどんなものを追加して食べればいいのかが判断できれば、栄養の偏りを防ぐことができる。食事については細かい部分に触れるキリがないので、大まかに以下に挙げるものを摂取できるよう心掛けると良い。

- (1) 主食（炭水化物）
- (2) おかず（肉、魚、豆製品等）
- (3) サラダ（野菜）
- (4) みそ汁（具たくさん）
- (5) 乳製品（牛乳／ヨーグルト）
- (6) 果物（100%オレンジジュース）



③具体的な食事の例

- (1) 学生食堂での食事
- ・カレーランチ（主食）
- ・コーンサラダ（サラダ）



- (2) コンビニ弁当での食事
- ・コンビニ弁当（主食、おかず）
- ・野菜ジュース（サラダ）
- この例で足りないのは「乳製品」、「果物」、「みそ汁」。

(3) 吉野家の食事

- ・吉野家の牛丼特盛り
- ・生卵
- ・みそ汁
- ・ヨーグルト
- ・オレンジジュース



④タンパク質の摂り方

スポーツ選手は、トレーニング

これに「サラダ」をつければ、牛丼屋でも完璧な食事を摂ることができる。

グによって損傷した筋細胞を修復して超回復を果し、効率よいトレーニング効果を得るために、一般人よりタンパク質需要が大きいと考えられるため、タンパク質を豊富に含む食材（肉類、魚類、豆製品、乳製品等）の積極的な摂取が重要である。しかし、タンパク質を豊富に含む食材は、脂肪も多く含まれるため、減量のある選手は注意が必要となる。

スポーツ選手が1日に摂取するタンパク質の必要量は、体重1kg当たり2~4gが推奨されている。この量が普段からの食事で摂取できれば問題ないが、食事のみでは摂取できない場合、プロテイン等のいわゆるサプリメント（栄養補助食品）が役立つ。但し、プロテインの摂取はあくまで不足する分の補助であるから、三度の食事が基本となりそれに加えて摂取するというスタンスを守る必要がある。「プロテインは飲むけれど食事は抜く」という行動は、本末転倒であること十分に注意しなければならない。

⑤プロテイン摂取のタイミング
激しい練習やトレーニングは、筋肉を著しく傷つける。傷つけられた筋肉は、就寝中に分泌される成長ホルモンの助けを借りて体内のタンパク栄養を材料とした修復作業を行い徐々に強化されていく。本来この修復に使用されるタンパク質は食事から摂取されたものであるが、修復作業をより効率的にするためににはプロテインの摂取が有効である。タイミングは、練習やトレーニングが終了してから30分以内に摂取す

・ジュース野菜生活（サラダ）

- ・コンビニ弁当（主食、おかず）
- ・野菜ジュース（サラダ）
- この例で足りないのは「乳製品」、「果物」、「みそ汁」。

最後に、今回執筆の機会を与えていただいた小林先輩に感謝いたします。

飲み方は自由だが、牛乳か100%オレンジジュースに溶かして飲むと吸収の効率が良くなり、また乳製品を摂取する機会が増えることになるので推奨される。軽量級で体重が気になる場合には水に溶かして飲んでも支障はない。

プロテイン摂取に関しての注意点は、激しい練習やトレーニング無しに摂取するだけでは筋量は増えないとということである。逆に過剰カロリーになり太る。プロテインは魔法の薬ではなく、壊れた筋肉を修理する材料であるという認識を強く持つてほしい。

最後に、今回執筆の機会を与えていただいた小林先輩に感謝いたします。

激しい練習やトレーニングは、筋肉を著しく傷つける。傷つけられた筋肉は、就寝中に分泌される成長ホルモンの助けを借りて体内のタンパク栄養を材料とした修復作業を行って徐々に強化されていく。本来この修復に使用されるタンパク質は食事から摂取されたものであるが、修復作業をより効率的にするためににはプロテインの摂取が有効である。タイミングは、練習やトレーニングが終了してから30分以内に摂取す

慶祝

私たち結婚しました



吉田 剛章・理沙（旧姓 一見）

〒478-0036 愛知県知多市新舞子字出口54-7 新舞子アスレゼ101

9月29日 ホテルイースト21 東京にて



私たち二人は4月1日、結婚いたしました。

下記住所にて新生活をスタートいたしましたので、
これからもよろしくお願ひいたします。

赤井澤 一晴・美紀（旧姓 斎藤）

〒273-0048 千葉県船橋市丸山1-38-6 ワークス馬込沢3号室



牛窪（旧姓 吉永）喜史・千幸

牛窪は、本年三月に京葉瓦斯（株）を退職し、
埼玉県川越市で牛窪鍼灸接骨院と牛窪道場を行っています。
皆様も近くにお越しになつた際は、お気軽に
お立ち寄り下さい。

埼玉県川越市南田島242-1

2月25日 川越プリンスホテル



〒143-0025 東京都大田区南馬込3-23-14

夫婦で力を合わせて幸せな家庭を築きたいと思います。
幸せ太りしないよう気をつけます！

水野 洋太・恵威子（旧姓 三ツ石）

4月22日 白金台八芳園



のうちにいるまい。青少年の間に武道が根付いて、しっかりと根を張るなりはすだ。さて、ここで競技関係者のひとりとしての感想を述べて見たい。

学習指導要領の改定作業を進めていた中央教育審議会が中学校の体育授業で武道を必修化する方針を決めた。早ければ平成二三年度にも実施される。

昨年十二月に改正された教育基本法に盛り込まれた「伝統文化の尊重」を受けたもので、必修化によって武道が中学生に、より身近なものになるだろう。指導要領に定める武道には、柔道、剣道、相撲が掲げられているが、地域の実情に応じてなぎなたや弓道を取り入れるところもあるという。必修化されると武道は中学一、二年で全員が履修することになる。

終戦直後、軍国主義や愛国主義教育を排除するために、連合国軍総司令部（GHQ）は、学校に於ける神道教育の禁止や修身、日本史、地理教育の停止などとともに、武道の禁止を指令し

た。日本武道の伝統にとつて不幸な時代だったが、昭和二六年の指令解除によつて各種団体が再建され、復興の道を歩みだした。

武道は礼に始まり礼をもつて終わるといわれている。近年はスポーツとしての勝敗にこだわる傾向も見られないではないが、武道本来が持つ精神修養の度の必修化は憂慮されている柔道人口減少の歯止めとなり、さらに底辺の面の重視の姿勢はいまだに衰えていない。

公徳心が低下し、公共マナーの乱れが目につく今日にあつて武道の必修化はまさに「健全なる精神は健全なる身体に宿る」、次代を担う青少年の育成に貢献するだろう。武道場の整備されていない公立中学校が半数あることや、指導教員をどう育てるかなど、必修化へ突破すべき関門は多い。しかし、武道教育から得られるものの貴重さを考えれば、それらを乗り越えるのは困難だ。

さて、日本の武道に発した近代柔道の変形は否めない。とはいゝ日本柔道までがそれに流されている訳では決してない。宗家の誇りがある以上、伝統を見失うことはない。これを機に柔道界が教育の発展に貢献できるものと気を引き締めている。

(K)

「JUDO」に追い込まれた二〇〇七年

竹園隆浩

京都市の日本漢字能力検定協会が全国から公募した今年の漢字に「偽」が選ばれた二〇〇七年。ひき肉や白い恋人などの食の偽装発覚あり、年金記録や政治資金の疑惑も横行。様々な「信用」が根底から崩され、ため息の多い年の瀬を迎えた。

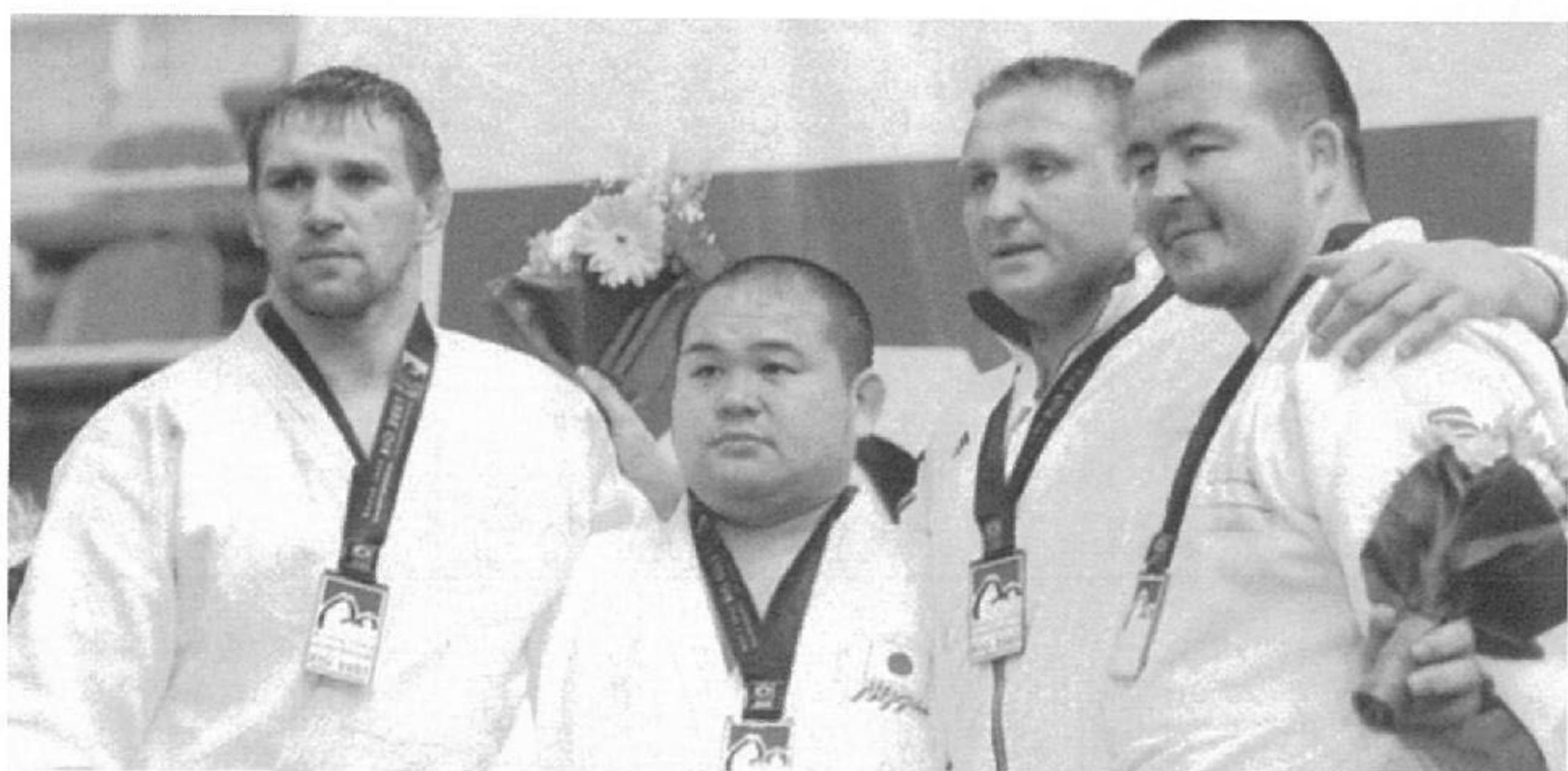
スポーツ界でも同様の思いが浮かぶ。相撲界では朝青龍騒動が起き、若手力士が暴力で死亡した問題が公になった。ボクシングのリングでも、亀田兄弟の兄・大毅の世界戦で父や元世界王者の兄・興毅が反則を指示して、批判を浴びた。「フェア」が第1のスポーツの世界で常識が次々と覆された。

柔道界は、と言えば、本家の「柔道」が、欧洲を中心とする世界の「JUD」に文字通り追い込まれた屈辱的な年と言つていいだろう。九月にブライ

ルのリオデジャネイロで行われた世界選手権と、その直前に行われた国際柔道連盟（IJF）の総会で、日本は豊の内、外で厳しい現実を突きつけられた。

まずは豊の外。IJFの教育コーチング理事選挙で再選を目指した現職の山下泰裕・全柔連理事が落選した。しかも、相手はこれまでほとんど実績のないアルジェリアのモハメド・メリジヤ候補だったが、投票結果は山下氏六一票に対し、メリジヤ氏は一二三票。予想を上回る大差の完敗だった。

その後、明大OBでもある上村春樹・全柔連専務理事が役員の増員について議決権のない理事に選ばれた。このため、日本が一九五二年に加盟して以来となる理事不在の異例の事態は免れたが、本家の影響力低下を改めて思



頑張った榎田

い知らされた。

I J F 内で日本の凋落は著しい。七年以降、会長職は二〇年間、日本人以外が選挙で選ばれ、カラー柔道着の導入や押さえ込みの二五秒ルール、新しい技の承認など、「JUDO」は講道館で始まつた「柔道」からはどんどん逸脱していく形で進化を続けている。

実は今回の選挙は、I J F の会長職を争う「代理戦争」に日本が巻き込まれた要因もあつた。九五年の I J F 総会で嘉納行光・全柔連会長が敗れた韓国の朴容晟会長を、日本はその後は支持してきた。しかし、新たに世界の柔道界のトップを狙つた欧州連盟のビゼール会長（オーストリア）との対立から、ビゼールが今回の総会前に辞任。ビゼール氏は新会長につき、そのビゼール新会長の推すメリジャ氏が山下氏を圧倒した。

理事不在で国際的な情報が全然入らない、という最悪の事態は回避された

て良し、寝て良しの本領を発揮。総倒れの様相となつた日本男子の面目を保ち、大阪で行われた〇三年大会の100キロ超級に続く金メダルを獲得した。結果的に女子は無差別級の塚田真希（綜合警備保障）も優勝した。日本のメダル数は金三、銀二、銅四の計九個。男子は過去最多の七個を獲得したが、女子は最少の2個。各階級五位以内に与えられる来年の北京五輪出場枠も男女14階級の中で八階級を確保したが、男子は100キロ超級と73キロ級のみだった（女子は70キロ級を除く6階級で獲得）。

男子は、井上、鈴木の判定は不運だつたと思う。だが、それを眺め返すだけの地力と闘志は感じられない。お家芸と呼ばれたバレーボールや重量挙げ、レスリングなどが落ち込んでいる、「男が世界で勝てない現実」が迫つてきた。

来年はいよいよ北京での五輪を迎える

「武道としての精神」に沿つた発展を願う日本の姿勢は、ほとんど考慮されないだろう。「自力」で世界の柔道を導いていくことは事実上、許されなくなつた。

ビゼール新会長は就任会見で「『一本』などの日本語は変えないが、より観客に分かりやすくする。日本はプロ化をすすめないといけない」と言つた。その言葉は、過去の外圧とは比べものにならないほど重い。

選挙戦に続く脛の上の戦いでも、苦戦は止まらなかつた。

二〇〇四年のアテネ五輪で歴代最多の男女八個の金メダルを獲得した日本勢だが、この大会は初日に男子100キロ超級の井上康生（綜合警備保障）と100キロ級の鈴木桂治（平成管財）の両エースが際どい判定で敗れると、その後も日本勢は海外勢の勢いに飲み込まれた。

男子は〇五年の世界王者である90キロ級の泉浩（旭化成＝明大OB）もメダルに届かないまま、敗退。73キロ級

で金丸雄介（了徳寺学園職）が三位に食い込むまで表彰台にも上がれなかつた。アテネで五階級を制した女子も、三日目まで優勝はなし。史上初めてとなる五輪、世界選手権での「金メダル0の日」まで覚悟しなければいけない状況が迫つた。

男女の最軽量級と無差別級が行われた最終日。その窮地を救つたのは女子48キロ級の谷亮子（トヨタ自動車）と、男子無差別級の棟田康幸（警視庁＝明大OB）だつた。

出産から復帰した三二歳の谷は一本勝ちは1試合だけだつたが、厳しい組手と氣迫は健在だつた。アテネ五輪の銀メダルのジョシネ（フランス）、フランス国際優勝の吳樹根（中国）、欧洲王者のドウミトル（ルーマニア）、〇五年大会王者のベルモイ（キューバ）と強豪を次々に撃破して、二大会ぶり七度目の優勝を飾つた。

一方の棟田は五試合すべてに一本勝ち。支え釣り込み足、小外掛け、内また、一本背負い、横四方固めと、立つたままの前回の小失から「希望」を持つて育ててくれた柔道のお手伝いをしようと思う。ため息に埋もれる暇がもつたいない。

駿河台で磨いた心意気を生かす場は、様々ある。

八五年度卒 朝日新聞

ピッキング被害でお困りの説は是非当店へ!!

株式会社 山内機器製作所

代表取締役 山内 鉄生 (S53年度卒)

〒152-0002 東京都目黒区目黒本町6-20-2
TEL. 03-3712-0626 FAX. 03-3712-0603

日本力バ社製品製造・精密機械部品製造業

故・畠田道夫君を偲ぶ

松本順吉



平成十九年六月三日（日）、小生の携帯に電話がかかってきた。電話は姿信夫 明柔会 副会長からで：本日、畠田道夫さんが亡くなられました…と。えーっ、畠田道夫君ですか？ 小生は驚いて聞きなおしました。

明柔会からFAXの訃報をいただき高田誠之助君をはじめ同期の友人達に畠田君の訃報を連絡しましたが皆一様に驚いていました。あまりにも突然だったから。

六月五日の通夜には高田誠之助君・佐藤栄吾君と小生の三名が会葬させていただきました。斎場で喪主のご子息・畠田勝一郎君に挨拶し、柔道着を着た眠るがごとき畠田君に合掌し最後のお別れをしました。ご子息によれば糖尿病の治療中更に休調を崩し、検査したところ大腸がんにかかっていることがわかつたが手遅れであったとの事。畠田君、君は無念だつたでしょう。我々は君に話しかける言葉も無く、ただ合

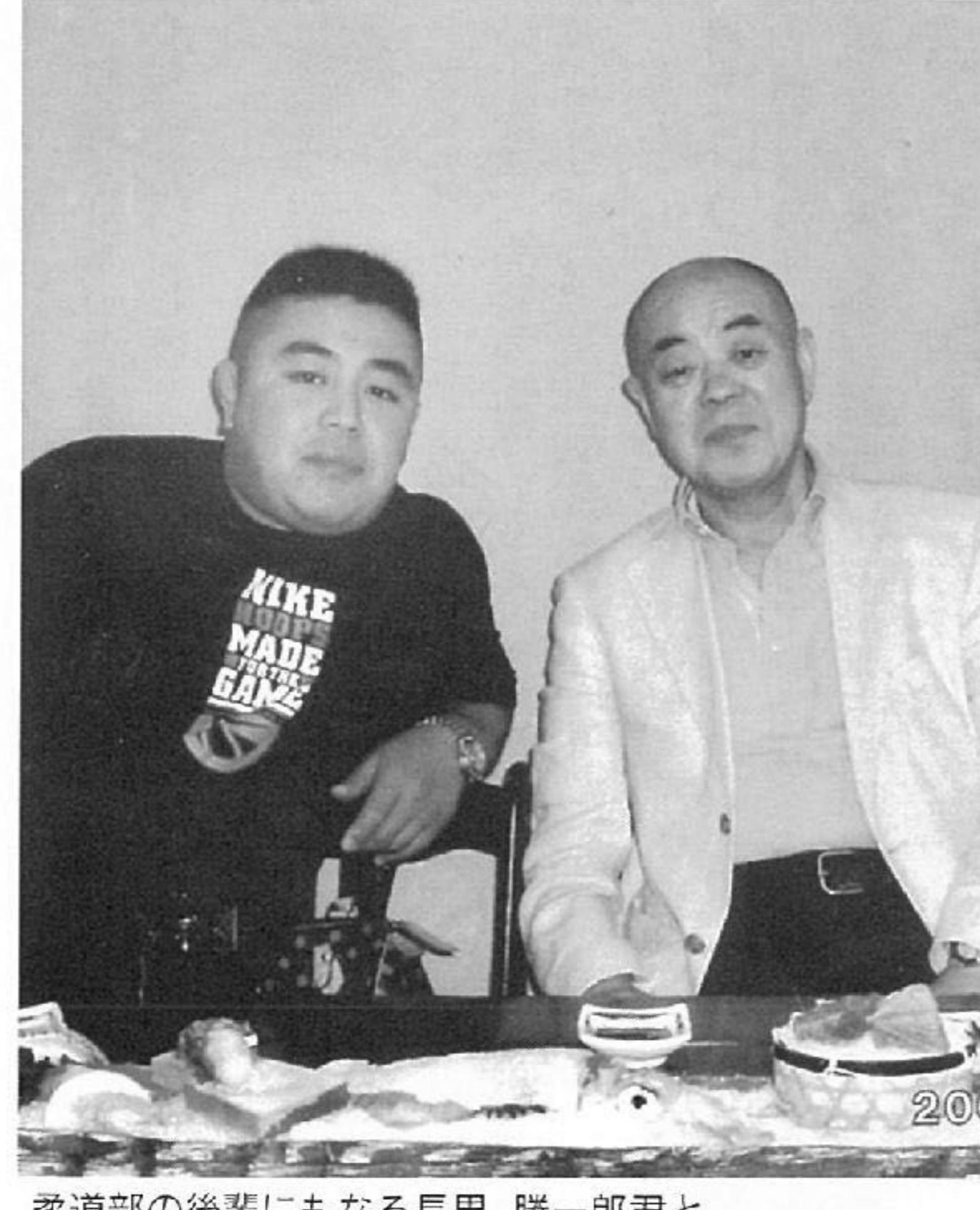
掌するだけでした。

君は明大を卒業後、日本中央競馬会（JRA）に就職し仕事上での活躍は勿論の事、JRA柔道部の発展にも大いに寄与しました。それゆえ、ご葬儀では明大柔道部の元部長の百瀬先生をはじめ明柔会の先輩や後輩達、JRAの方々、他大学の柔道部関係の方々、そして出身高校同窓生の方々、他多くの方々が会葬され君の死を惜しむと共にご冥福を祈つておられた。

我々三名は通夜で君にご焼香をし、ご冥福をお祈りして帰途に着いたがお清めの二次会の為に駅の近くの居酒屋に入つたところ、そこで君の出身高校・北海道札幌東高校の同窓生十数名の方々と同席となり同年代の者同志が共に君を偲びあつた。これも君が引き合わせてくれたのであるうか。

小生、並びに同期生と君との最初の出会いは昭和三十三年二月に明大の柔道場で行われた明大柔道部に進学を希望する全国各地から集まつた猛者達が繰り広げた入試選考テストの場であった。そして、我々は難関を突破し明大柔道部に入部し同期生となつた。

君は姿師範が築かれた姿寮に入寮し、四年生の甲斐寮長他総勢五名の先輩達の下で朝夕の食事の用意、法学部での勉強、柔道の練習に励み、土・日はJRAの中山競馬場や府中競馬場でアルバイトをした。厳しい日々を乗り越えて明るく、たくましく柔道の練習に励んだ君は人間的に強く、苦労人であつたと今にして思う。



柔道部の後輩にもなる長男 勝一郎君と

我々は四年生となり全日本学生柔道優勝大会の優勝旗を奪還しようと田中章雄主将を中心に練習に励んだ。四年生から一年生までが一体となり猛練習に共に励んだ活動の中で君の存在感は大きかつた。そして、我々は全日本の優勝旗を手にした。大会を終えると次は就職であった。

君は姿師範が勤務されているJRAに就職が決まった。姿師範のご尽力のお陰である。

この時、君は東洋醸造に決まつた神永正夫君にこう約束したと聞く。「おい正夫、俺達の就職先是先輩も後輩もいない会社だ。俺達が最初だな。俺達で後輩達が続くように頑張ろうぜ」と。

今現在、日本中央競馬会には明大柔道部の後輩をはじめ、他大学の柔道部OBが毎年入会している。君が姿師範の恩義に報いるべく仕事に励んだ結果であると思う。君の人柄、頭脳、熱心な仕事振り、そして、部下の指導力が認められたからだと思う。

君は姿師範の期待に応え、神永正夫君との約束も果たしたのだ。JRAでの君の職歴がその事を示している。

若くして、理事長秘書役と人事課長・人事部次長を歴任。故郷・札幌の競馬場長、投票部長を経て四大競馬場の阪神競馬場長となり、最後は関連子会社の専務取締役に就任した。そして、JRA柔道部を強化・発展させた。

君が入会した当時と現在のJRAを比較すると事業規模、参加人員、年間売上高が大きく伸張したという。そして、何

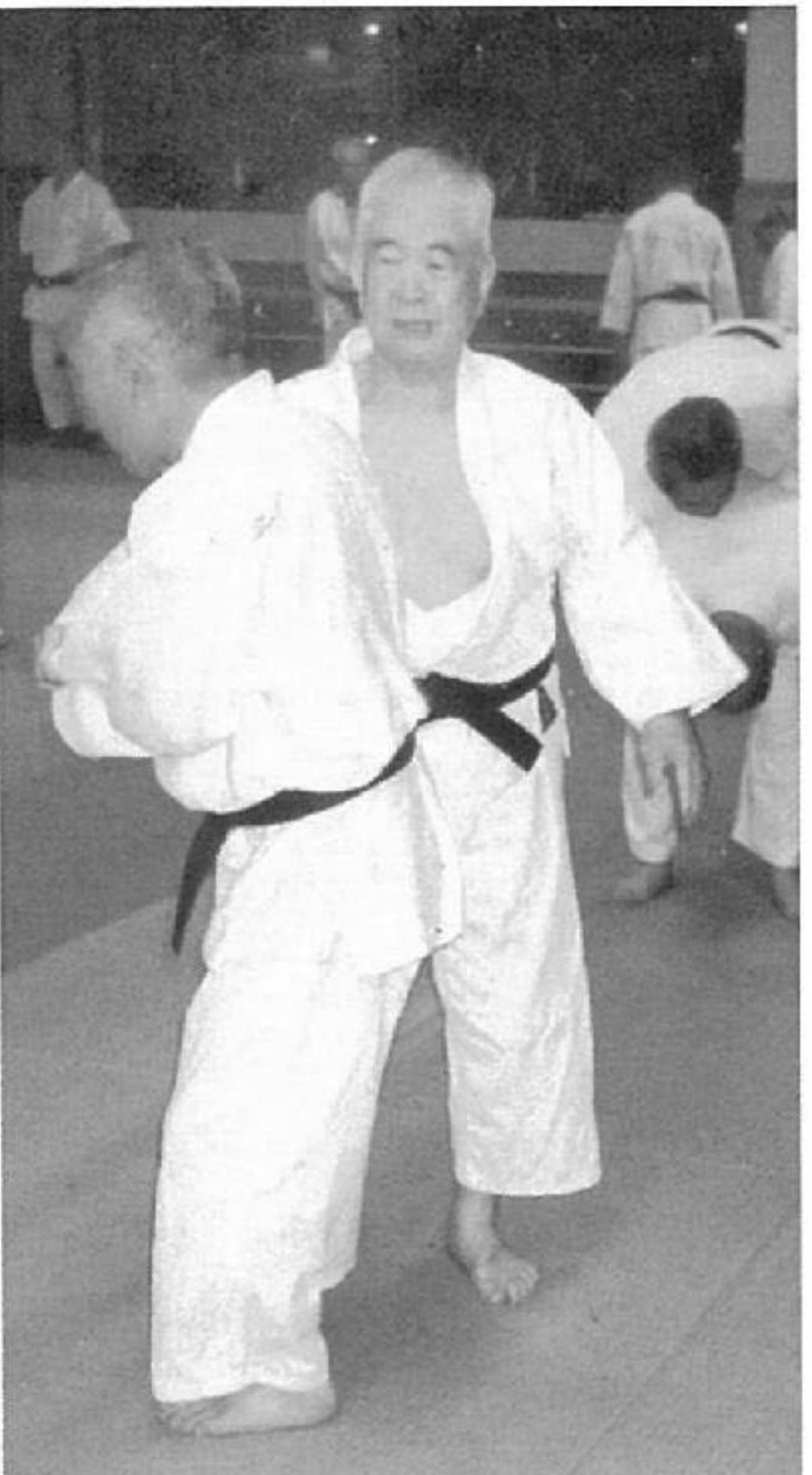
よりも社会的地位も向上した。

君の事をJRA激動の時代を生き抜きその伸長の一翼を担つた人物であると君の功績を称える人達がいる。

我々同期の者にとつて君の思い出がある。我々の入試選考テストの日、神永正夫君は君の切れ味鋭い「大外落とし」に魅了され、木下征彦君は君に押さえ込まれて負けた事を悔しくも懐かしく思い出している。高校時代よりのライバル佐藤栄吾君は君と二人で札幌に帰省する際に函館駅で食べた蟹のおいしさを忘れないでいる。小生は我々の同期会で君が計画してくれた日光旅行でJRAの日光の保養所に泊まる事が出来た事、その後の北海道旅行で君の友人が経営するニセコの



四年生時（姿察前）



都柔連合同稽古の先輩

追悼 宮下光男先輩

落合俊保

ペンションの料理のおいしさが忘れられないでいる。君は強かった。そして優しくて親切であり、我々の誇れる友人だった。

君は今、我々に見えない彼岸にいる。最愛の奥様に会い安らかな永遠の時間を過ごしていることでしょう。

そして、時には姿師範を囲む曾根先輩・神永先輩・同期の田中章雄君や佐藤治君等と共に杯を交わしねぎらいの言葉を受けている事でしょう。

本当に疲れ様でした。いずれ我々も君に会いに行きます。その時は小生が幹事役で同期会を開きましょう。それまでのしばらくの間、サヨウナラ。

君のご冥福をお祈り申し上げ失礼します。

平成十九年十一月二五日

昭和三六年度卒業

十月二九日十時頃、電話がなり応対に出ると宮下先輩逝去の知らせでした。一瞬、耳を疑い声も出ず驚愕の体でありました。生者必滅の理とは言え、宮下先輩を知る人は日頃柔道一筋に活躍されていた事は周知の通りです。



戦後まもない若き日の明大柔道部での話になると、いつもでも眼を輝かし蕩々と語られ当時の様子を知る事が出来ました。先輩は明柔会主催の行事には必ず出席し現状を把握され、多面に亘って、永年貢献されてまいりました。私も先輩と共に柔道関係の仕事を色々と一緒にさせて頂きました。また、自宅道場に於いても門人の育成に熱心で、私も度々道場に呼び出されました。あの時も門人の昇段の為の形指導を頼むとお願いされ、日曜日二時間程との話でしたが、毎回指導に夢中になり終わつてみれば三時間以上、春先はそれ程

でもなかつたが、月を追うごとに暑さも増し八月の猛暑には流石に体ももたず参りました。

その後も先輩より形の稽古をと云う事で、後輩の大輪君と一年余り三人で稽古に汗を流し励みあつた日々が蘇ってきます。

お陰さまで三人揃つて八段に昇段する事が出来、祝い合つたあの日が昨日のようになります。

先輩は今年一月体調不良とのことで、毎年参加している講道館の寒稽古も今年は休み、順天堂病院に検査入院することでした。結果は腫瘍の摘出を行い暫く入院して居りました。退院後、又、元気な柔道衣姿で、都道連主催の合同稽古に参加するほどまで回復されたかに見えましたが、七月の合同稽古を最後に再入院され、帰らぬ人となりました。

私は先日まで一緒に活動した日々が脳裏に強く焼きついでいます。

御冥福をお祈りいたします

平成十九年度 事務局把握物故者

十月	九月	八月	七月	六月	五月	四月	三月	二月	一月
宮下 光男氏	遠田 照明氏	菅原 雄二氏	黒住 大和氏	畠田 道夫氏	村上 次郎氏	小林 忠吉氏	小林 忠吉氏	小林 忠吉氏	小林 忠吉氏
昭和二七年度卒	昭和二五／二七年度卒	昭和三四年度卒	昭和二二年度卒	昭和三六年度卒	昭和三五年度卒	昭和三五年度卒	昭和三五年度卒	昭和三五年度卒	昭和三五年度卒
昭和二七年度卒	昭和二五／二七年度卒	昭和二二年度卒							
昭和二七年度卒	昭和二五／二七年度卒	昭和二二年度卒							

武士道精神に学ぶ

押切義春



1 武士道による国会論議の教訓

昨年（十八年十一月）参議院の教育基本法改正に関する特別委員会に於いて、伊吹文部科学大臣は日本の規範として大切なのは道であり、日本人に規範意識を教えたのが武士道（新渡戸稻造氏著書）であると述べたことにより、武士道が大きな注目を集めることになった。そこで、今から一一〇年前の武士道からお話を進めるに致したい。

当時、新渡戸氏が、米国のジョンズ・ホプキンス大学に留学中、法学者ラブレー先生から日本の学校では宗教教育が無いと聞くが、では道徳教育をどこで教えるのか、との質問に対し、それは武士道から学んでいると答えた。これが発端となり、奥様のメリーカ夫人や、小泉八雲とアーネストサトー（英國公使）等の要請を受け武士道の内容を英文で、書き上げ、米国で一八九九年出版したが日本人初のベストセラーとなつた。

新渡戸氏は嘉納治五郎師範の二年後輩で、共に己の完成・自立への理想教育の先駆者として、第一高等学校長・東京女子大学学長、更に国連事務次長

(一) 義 義とは人として守るべき正しい道を倫理規範として述べ、正義・大義のように、世の為、人の為、更に天下万民の為には私利私欲を捨て、使命感を持続する志を説く。

(二) 勇 義をみて、せざるは勇なきなり（論語）弱者が大勢、いるのに何もしないのは勇気が無いからであり、義と勇は表裏一体となつて実行可能となる。

吉田松陰の残した句に「かくすればかくなるものと知りながら、やむにやまれぬ大和魂」がある。

これは松陰二五才の時、国禁を犯した。



ペリーの軍艦で、米国密航を企てた罪により、投獄された際、詠んだものと云われる。（一八五四年）

松陰も学問とは世の為・人の為に役立つ事が肝要であり、あとはその志を実行する勇気が求められると説き、行動の美学を自ら示したが、二十九才の時、安政の大獄で処刑された。しかし松陰の志は松下村塾で学んだ伊藤博文はじめ二三〇名の塾生により、明治と云う新しい時代を切り開き、その意志を継いだ。

(三) 仁 人の上に立つ者の条件として自分の仁徳の必要性を説いた。

天皇家では親王ご誕生の場合、漢学者から複数のお名前を提出させ、その中から、選ぶことになっている。現在の皇太子殿下、浩宮徳仁親王のお名前は諸橋轍次先生の命名によるもので、先生は東京高等師範学校時代から嘉納校長の薰陶を受けた高弟で、大漢和辞典の作成・東京文理科大学学長・文化

勲章受章者・講道館役員として貢献された。

仁の字が、親王の語尾にあることに注目。

(四) 礼 相手を敬い思いやる心＝惻隱の情

今から一四〇年前、江戸城開城を巡って、勝海舟と西郷隆盛との会談（一八六八年）が行われた。その時「西郷は勝の申し入れを信用した上で私の一身にかけてお引受け致すと回答。そして敗軍の将である勝を見下すことなく終始正座して、両手を膝の上におき、礼を尽くしてくれた、改めて西郷の人

物と胆量の大きさに感服した」とある（永川清話）この会談によつて、江戸市民百万人の命が守られ、明治維新の中から、選ぶことになっている。現在の皇太子殿下、浩宮徳仁親王のお名前は諸橋轍次先生の命名によるもので、

小田原の初代領主、北条早雲は正直者に神が宿るを信念として、正直憲法を家訓として遺した。領主たる者は家

校長の薰陶を受けた高弟で、大漢和辞典の作成・東京文理科大学学長・文化

等を歴任される等、大きな足跡を残された。早速、著書にある七項目の基本部分を次のとおり要約したが、その德目から失われた美風を吸收頂ければ望外の幸いである。

重し、それらを育んできた我が国と郷土を愛する」など、全般について、賛否両派の論拠となつた。尚、歴史を回顧すると、騎士道は教会が受け皿となり、歐米では神士道として、再生の上、ノブレス・オブリュージュ（弱者救済）活動も現代に受け継がれている。

一方、武士道の場合、明治維新に伴い、封建的身分制度は崩壊したが、その精神と美風は時代を超えて、柔・剣道をはじめ各種の武道並びに伝統文化の中に僅かに、内在している。

2 武士道の紀元は鎌倉時代

(一) 古代中国との交流とその影響

日本は中国との地理的関係から、繩文・弥生は、もとより、飛鳥・奈良・平安へと人の往来が、年々活発となつていていた。

その為、古代中国の国家体制（律令制）、宗教・農業技術・漢字等、様々な文化が輸入されてきた。特に、平安時代の支配体制となつた、律令体制は統治形態としても徹底された。律令制と

は土地を全て、国有化して、農民には一定の耕地を保証する。その代わりに戸籍登録を行い、物納租税を課し、労働支配を実施するものである。

戸籍登録を行い、物納租税を課し、労

農業に励み、日没と共に番所へ返納する厳しい環境にあえいでいた。しかも、農民には耕地の増減・場所の移動などの自由はなく、飢饉等の場合は座り頭し、農器具を借りて、一所懸命、農作業に励み、日没と共に番所へ返納する厳しい環境にあえいでいた。しか

も、農民には耕地の増減・場所の移動

やがて、このような苛酷な強制労働から、人里離れた山奥へ逃れて、開墾しながら、自衛の為、武装する、農民が徐々に増大し、その大小さまざまなる武装集団が豪族として勢力をもつようになつた。この集団こそが坂東武者のルーツであり、のちの鎌倉武士は農民だったのである。

(二) 頼朝の大義は土地革命につながった

中国流の律令制の導入によって、公家貴族は榮華を貪り、横暴を極めていた。「平氏にあらずんば人にあらず」の

ようすは、朝廷から、頼朝へ平氏追討の「令旨」（命令）がくだされた。しかし、頼朝は流罪の身で、軍勢も無かつた。そこで律令制により、土地を奪われ、開墾農民となつた坂東武者に対し、土地の再分配を公約した結果、この大義は的中し、二十万の軍勢の結集をみることができた。

今から、八三〇年前のことである。

土地に不満をもち、平氏の横暴支配に対する叛骨精神が大きな原動力となつて源平合戦は勝利に終わつたが、その時、坂東武者の尚武の規範は次の行動に示されていた。

(三) 戦場では名のりをあげ、自分の名に恥じない正々堂々潔よく戦つた。

（弓矢の矢に漆しで名前を書くことであった）

① 戰場では名のりをあげ、自分の名に恥じない正々堂々潔よく戦つた。

（弓矢の矢に漆しで名前を書くことであった）

② 名誉の為、命を賭け、決して、卑怯な事はしなかつた（壇ノ浦の海戦で、義経が武士でない船頭を殺害し、梶原景時から叱責。）

(3) 敗者への情け。（熊谷直実が一の谷の戦いで、当時、十七才の平敦盛を討ち、これがもとで仏門へ帰依。）

頼朝による鎌倉幕府の成立（一一八五年）はそれ以来、武家政権の統治が、約六百年の長期に亘つて、続くことになつた。特に、武士の名を惜しむ行動規範は名を残し、名を大切にして責任を果たす習慣となり、日本人による、日本独自の倫理規範の基礎となつた。

又、さらに鎌倉から、庶民の顔が見えるようになり、日本固有の多様な文化が、一般庶民からも生まれる、新しい時代の幕開けとなつたと云われる所以である。

(三) 武家政権は武士道と身分制

天下統一は時代をこえて、各大名（武将）の悲願であり、共通の目標で

ある。

鎌倉時代が一五〇年で、終焉を迎えた原因是論功行賞（土地）の限界によるものだつた、室町時代の一八〇年は農業生产力の向上にも拘わらず、下克上の国盗り合戦・戦国時代を経て、関ヶ原の戦い（一六〇〇年）で家康の戦略と統治力が勝れ、江戸時代は徳川家十五代の將軍によつて、二七〇年の长期政権が続くことになつた。その理由を武王道的に考察すると次のとおりである。

として評価された。

又、殺人剣の剣術・剣法は活人剣としての剣道へと進化させた。

(四) 日本民族は恥を意識する文化

これは菊と刀の著者であり、米国の戦争目的の為、日本人の歴史・文化・心理及び行動分析などの調査を実施した、文化人類学者ルース・ベネディクト女史（コロンビア大学教授）の指摘である。

菊は天皇であり、日本は紀元前より、皇統連綿とつながる天皇が、國家神道の神として、国民から尊崇されてきた。そこには天皇が直接、統治することなく各時代の権力者が実際の政治の代行（権力の二重構造）等を論じ、又、刀とは武士のことと、日本人の封建時代に於ける世襲的身分制度のもとでは名誉が、最も尊敬されてきた。しかし、名誉を表とすると裏は恥である。そして、不名誉なことは恥として排斥された。日本軍の玉砕主義をみると、民族の同一の動機による、強制力のもとで

は一群の行動と習慣でパターン（型）が決まる。云う調査は日本人への重い問いかけでもある。

尚、ルース女史は世界の文化を不正や失敗をした際、それを恥として意識する民族と罪として受取る民族とに分類し、恥の文化圏の場合は道徳、罪の場合には罰則が、それぞれの中心的課題になると指摘する。

3 勝海舟と嘉納治五郎



編集後記

今号には棟田の快勝以外取りたてた試合の記事はない。しかし、学生体重別個人で二つ取ったのは明治だけだったのはうれしい、花本と西岡に拍手！

國体戦は夏の優勝大会、秋の体重別団体ともに三位だった。頑張ったといえるが三位では記事にならない。尤も上位がみな一〇〇名部員校であることを思えば部員二六名

五階はいま“バー”になっている。

窓外の夜景はほぼ往時のままだから感慨にふけるには十分のムードだ。飲み代も極く普通だから全国の諸兄も上京の際には立ち寄られてみてはいかがだろうか。ただし、道場経由でお願いします。それでは良い御年を！

(K)



給食用食品卸

(株)富士産業

代表取締役 谷藤 義明
(S34年度卒)

〒173-0032 東京都板橋区大谷口上町44-11

TEL. 03-3956-9615

明柔	年二回発行
平成十九年十二月発行	
小林敏邦	
発行所 明治大学体育会柔道部明柔会	
東京都千代田区神田駿河台二二一	
印刷所 株式会社キンショード	
東京都 千代田区神田三崎町二二二一〇	
・〇三三九五四四八九	
本社	・〇三三二八八一五〇七

柔道創始者、嘉納治五郎師範の父上の嘉納治郎作氏は海舟の赤貧時代を知る支援者として親交があつた。さらに嘉納師範自らも、東京帝国大学在学中より、海舟の提論である、これから日本は教育にありを胸に刻み、教育原理と柔術との融合を計った柔道を創成した。やがて、明治十五年、人倫の道を説き、柔道を学ぶ所、講道館を創立したが、道場は上野・永昌寺の小さな仏間（約十畳）だった。それから、雄飛する十二年後、下富坂に念願の百疊敷の新道場が落成（一八九四年）した。

海舟は父親、小吉の本家の男谷精一郎（直心影流・幕末の剣聖）から本格的な剣の英才教育を受け又、禅の修業も重ねてきたわけで名人の域にあつた。従つて、海舟はその鋭い眼力によって、嘉納師範が全身全霊をささげて、演じた形に、万感の思いをこめ剣禅一如の精神のもとで、漢詩を作詞されたものと解される。

無心とは純粹で清らかな悟りの境地

その時、嘉納師範は恩師、海舟（七二才）を主賓として、道場開きにご招待されたのである。海舟は嘉納師範（三五才）自ら、演ずる古式の形（嘉納師範が学んだ起倒流柔術の形）をご覧になり、その感想を次のような漢詩にして、嘉納師範へ贈呈された。

無心而入自然之妙
無為而究變化之神

海舟

たてかわ接骨院

井上恭夫
(S52年卒)

東京都墨田区立川3-2-12
TEL 03-3634-1419

菓子問屋 ダニジョー

株式会社 段上秀馬
東京都墨田区本所4丁目11番5号
電話 622-9121(代表)

に達した場合の意味であり。無為とは何事も支障なく、自在に動く、無限の境地に在ることを云う。

以上

昭和三十年度 日本チュニジア協会理事（財）講道館評議員・国際部審議員・八段

JOMO特約店

アスファルト・石油類総合販売

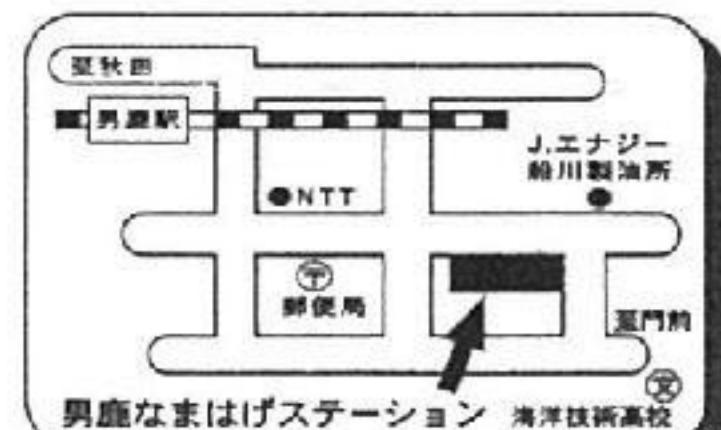


株式会社 男鹿興業社

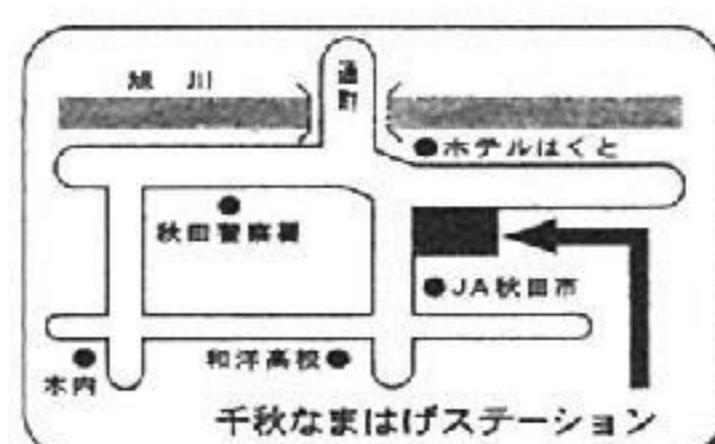
代表取締役社長 國 安 教 善

本 社
秋田営業所

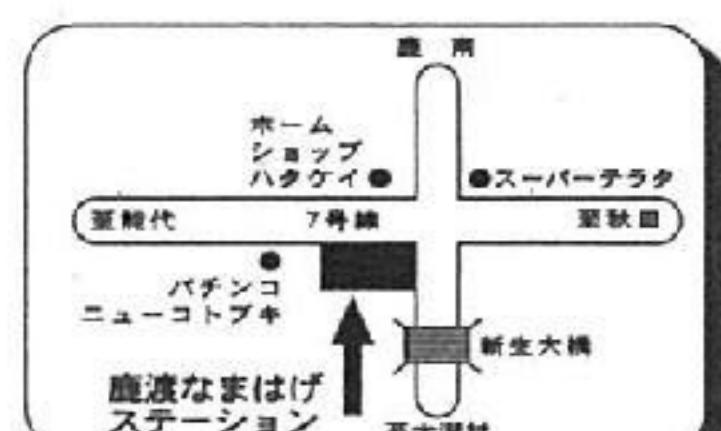
秋田県男鹿市船川港船川字海岸通り1-18-2 ☎(0185)23-3293(代)
秋田市横山川口境13-7 ☎(018)835-3362(代)



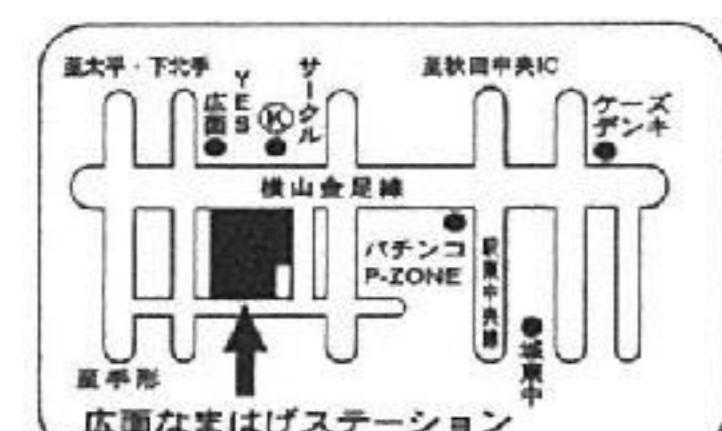
男鹿なまはげステーション
男鹿市船川港船川字化世沢178 ☎0185-24-3292



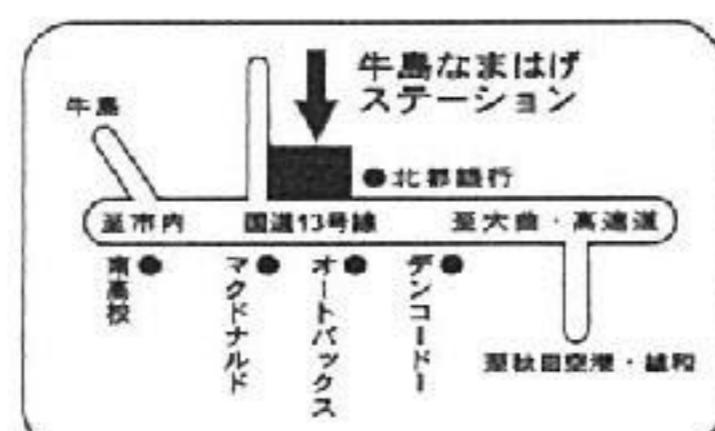
千秋なまはげステーション
秋田市千秋矢留2-43 ☎018-834-1736



鹿渡なまはげステーション
山本郡琴丘町鹿渡西小瀬川69 ☎0185-87-2316



広面なまはげステーション
秋田市広面字谷地沖22-1 ☎018-832-7633



牛島なまはげステーション
秋田市仁井田栄町1-31 ☎018-839-2306



★ノリュー車検
Team JOMO

21世紀へ向って…
躍進する京葉ガス。



京葉ガス



WKP KINSHODO

We have confidence in any kind of thing about print

食品用パッケージ
各種ポリエチレン印刷
製袋加工
包装印刷
各種グラビア印刷

包装
資材

印刷
全般

名刺・封筒・帳票類
出版・書籍印刷
各種販促ツール
印刷物全般
オフセット印刷・輪転印刷対応

企画
デザイン

製品カタログ・チラシ
商品パッケージ
販促ツール企画立案・制作
各種CI企画立案・制作
スタジオ・ロケ等撮影対応

印刷業務に関わるワンストップ・ソリューションを提供。
企画から製品までを完全サポート。

株式会社 キンショードー
代表取締役 渡辺 欣嗣

東京都千代田区三崎町2-21-10渡辺ビル5階
電話 03-3288-1507 FAX 03-3288-1508